

大学での授業の履修方法

平成30年度 海事科学部
初年次セミナー

2018.4.6



目次

※学生便覧および全学共通授業科目履修案内を一緒にご確認ください。

1. 入学から卒業までの流れ
2. クォーター制について(注意点1～5)
3. 大学における授業区別について
4. 海事科学部1年次の受講科目について
 - 4-1. 全学共通授業科目(鶴甲キャンパス)
 - 4-2. 学部共通科目(深江キャンパス)
5. 年次進行について
 - 5-1. 学科・コース配属
 - 5-2. 留年の可能性その1(3年次進級判定)
 - 5-3. 留年の可能性その2(特別研究履修判定)
 - 5-4. 留年の可能性その3(卒業判定)
6. 履修登録・定期試験・成績に関する注意事項
 - 6-1. 履修登録方法、期間について
 - 6-2. 定期試験、成績判定について
7. 資格取得に関する注意事項

1.入学から卒業までの流れ

大学を卒業するには……

- 4年間(8学期以上)大学に在学し、
- 所属学科・コースで決められている科目を学び、
- 定期試験に合格して、
- 卒業論文を書き、
- 卒業に必要な単位数(**130単位以上**)を得る。

2. クォーター制について

平成28年度から神戸大学では **2学期 クォーター制** を導入しました。

【クォーター制とは？】

前期・後期の授業期間をそれぞれ半分に分け、**各8週**で授業を行う制度です。

各8週の授業期間を「クォーター（略してQ）」と呼びます。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
授業履修						授業履修					



冬期休業期間は非常に短い

振替授業告知、授業予備日等をはじめ学歴を注意深く確認しておくこと

● 注意点1: クォーター制科目の連結制

クォーター制の目的のひとつは、修学内容の理解を細かく区切り、学生の理解を促すことにあります。

他方、大学生に求められる学識量が減ったわけではありません。そのため、初等科目内容の理解を前提とした応用科目、発展科目が後続のクォーター期に開講されます。

4	5	6	7	8	
前期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休	
微分積分1		微分積分2			
線形代数1		線形代数2			

初等科目内容の履修や理解が無いままに、応用科目、発展科目だけを後続のクォーター期に履修しても、これらの科目の成績判定で合格する(単位を取得できる)可能性は低いと予想されます。必ず初等科目からの履修を心がけて下さい。

● 注意点2: 一部セメスター科目の開講

実験、ゼミなど**一部の開講科目は学期(セメスター・半期)制で開講**します。つまり開講期間の異なる科目が同一カリキュラム中に混在します。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
授業履修						授業履修					

クォーター制科目は**年当たり4期**、セメスター科目は**年当たり2期**設定されています。

● 注意点3. クォーター制集中開講科目

多くのクォーター制開講科目は週1コマ開講されます。そして8コマ(約2ヶ月)の授業・試験を受けて合格すれば「1単位」を得ます。(※演習・実習系科目は0.5単位等になります。)

他方、集中開講形式のクォーター制開講科目では週2コマ開講されます。つまり、この講義では約2ヶ月間に計16コマの授業・試験を受けることとなります。これらの科目では合格すれば「2単位」を得ます。

クォーター制集中開講科目は週2コマ以上開講されます。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限					
2限					
3限	「〇〇学」				
4限				「〇〇学」	
5限					
6限					
7限					

●注意点4. 期間外・不規則開講科目

大学外部の有識者に教授をお願いした講義等では、定期的な(時間割表に沿った)開講スケジュールとならないケースがあります。これらの科目情報は(急遽開講が決まったものを除き)時間割表枠外に記載されます。仔細は事後発表となる科目もあります。これらの講義情報を見逃さないように時間割表は全て目を通してください。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					

期間外・不規則開講科目の情報は時間割表の枠外(2018年度は裏面)に記載されています。

● 注意点5. 履修登録・取消および 定期試験・成績発表の時期

カリキュラムが複雑であるため履修に当たっては下記項目に注意が必要です。

- ・履修登録：学期（前期・後期）毎
- ・履修取消：クォーター毎
- ・定期試験：クォーター開講は各クォーターの終わり、
セメスター開講は各学期末
- ・成績発表：クォーター毎に発表、単位修得は学期末

※一部の科目は、通常履修登録期間より早く抽選登録を行ったり、窓口で受け付けることもあります。

詳細は6で説明します

3. 大学における授業区分

学生便覧P125～136

ア.全学共通授業科目

(時間割コードが”OU○○○”の科目)

・・・国際教養教育院が提供する授業で、他学部学生と共に鶴甲キャンパスで開講されるものが多数です。全学共通授業科目は、次の6のカテゴリーに分類されます。

- | | |
|----------|------------|
| 1.基礎教養科目 | 4.情報科目 |
| 2.総合教養科目 | 5.健康スポーツ科学 |
| 3.外国語科目 | 6.共通専門基礎科目 |

※海事科学部のカリキュラム編成では2年次から深江キャンパスでの授業が始まるため、1年生のうちに修得・合格しておいてください。不合格科目が多数に上ると、2年次以降も再履修が必要となりますが、その際、鶴甲ー深江キャンパス間の頻繁な移動を強いられてしまいます。

イ.高度教養科目

学生便覧P166等

・・・国際教養教育院及び各学部が提供する授業。ある程度専門科目を学修した3・4年次生を対象に開講されるが、2年生から履修可能な科目もある。

ウ.学部共通科目

学生便覧P153

・・・海事科学部学生が共通して修得すべき学問内容をまとめた科目群。主として深江キャンパスで開講されますが、一部、他学部開講科目を含みます。

エ.専門科目

学生便覧P154～162

・・・海事科学部が開講する授業

(時間割コードが”OWO〇〇”の科目)

・**学科共通科目**：各学科において共通して修得すべき学問内容をまとめた科目群。

・**コース専門科目**：各コースにおいて修得すべき学問内容をまとめた科目群。

4. 海事科学部1年次の受講科目について

4-1. 全学共通授業科目（鶴甲キャンパス/月～木曜日）

➤ **基礎教養科目**・・・卒業要件：4単位以上

人文系、社会系、生命科学系、自然科学系の4つの分野から開講し、基本的な知識及び「ものの見方」を学び、理解することを目的とした科目群。1年次 第2Qから授業が始まります。

➤ **総合教養科目**・・・卒業要件：4単位以上

多文化に対する理解を深め、多分野にまたがる課題を考え、複眼的なものの見方、課題発見力を要請することを目的とした科目群。1年次 第2Qから授業が始まります。

履修申請上の注意点：

必ず抽選登録期間に登録すること！

（抽選登録期間：5/9～5/16 17:00まで）

➤ 外国語科目・・・卒業要件:8単位

外国語第Ⅰ(必修)・・・卒業要件:4単位

English Communication B1,B2

English Literacy B1,B2

外国語第Ⅱ(必修)・・・卒業要件:4単位

言語としては、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語から1種を選択

履修申請上の注意点:

あらかじめクラス指定されており、履修登録不要。
(大学による事前登録)。クラス分けは掲示板で発表。

➤ 健康・スポーツ科学(選択)

➤ 情報科目・・・卒業要件:1単位

情報基礎(必修)

海事科学部学生は第1Q木曜日4限目に関講

履修申請上の注意点:

履修登録不要。初回の授業(4月12日)で履修登録等に必要な“うりぼーネット”にログインするためのアカウント通知書を配布します。このシステムが利用できないと、以降の修学に大きな支障が生じますので、必ず「情報基礎」の講義には出席してください。

➤ 共通専門基礎科目・・・卒業要件:10単位以上

【数学及び理科の科目群】

専門科目を受けるための準備や導入のための科目群

数学・・・微分積分学、線形代数学、数理統計学

理科・・・物理系、化学系科目群とその実験科目

海事科学部で履修しなければならない共通専門基礎科目

数学系	物理学系	化学系
微分積分1 微分積分2 微分積分3 微分積分4 線形代数1 線形代数2 線形代数3 線形代数4 数理統計1 数理統計2	力学基礎1 力学基礎2 連続体力学基礎 熱力学基礎 電磁気学基礎1 電磁気学基礎2	基礎物理化学1 基礎物理化学2 基礎有機化学1 基礎有機化学2
6単位以上	4単位以上	要取得単位数規定なし

4. 海事科学部1年次の受講科目について

4-2. 学部共通科目（深江キャンパス／金曜日）

➤ **学部共通科目**・・・卒業要件：16単位以上

1年次のうちに履修すべき学部共通科目

- 「初年次セミナー」(必修・第1Q開講)
- 「海事科学通論」(必修・第2Q開講)

海事科学部の各学科・コースの専門内容の説明を行います。
皆さんが配属学科を選ぶために必要な情報提供を行います
ので、内容をよく理解してください。

- 「コミュニケーション英語A」(必修・第1Q開講)
- 「コミュニケーション英語B」(必修・第2Q開講)
- 「コミュニケーション英語C」(必修・第3Q開講)
- 「コミュニケーション英語D」(必修・第4Q開講)

- 「ライティング英語A」(必修・第3Q開講)
- 「ライティング英語B」(必修・第4Q開講)

講義は少人数クラスに分かれて実施しています。掲示板で自身の所属するクラスを確認して履修登録をしてください。

以下は選択科目ですが、学部共通科目は総計16単位以上取得しないと卒業要件を満たせません。積極的に履修してください。

- 「地勢学A」(選択・第3Q開講) 「地勢学B」(選択・第4Q開講)
- 「海洋学1」(選択・第3Q開講) 「海洋学2」(選択・第4Q開講)
- 「海事社会学-1」(選択・第3Q開講)
- 「海事社会学-2」(選択・第4Q開講)

履修上の注意

学部共通科目は1年次から履修できます。1年次金曜日の受講機会は「学部共通科目」の取得単位数(卒業要件)を満たす上で非常に重要です。ここで取得単位数が不十分な状態になると、後に順調に進級したとしても、4年次になってから「学部共通科目」カテゴリーの授業を取り直す事態になります！

5. 年次進行について

学生便覧P149～150

学科・コース配属
基礎ゼミ配属

総合ゼミ配属
(研究室仮配属)

研究室配属
卒業後の
進路検討

1年

2年

3年

4年

六甲台キャンパス
(月～木)
深江キャンパス(金)

深江キャンパス

深江キャンパス

深江キャンパス

- 全学共通授業科目
- 学部共通科目

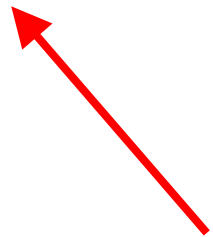
- 学部共通科目
- 専門科目
- 高度教養科目

- 学部共通科目
- 専門科目
- 高度教養科目

- 学部共通科目
- 専門科目
- 高度教養科目
- 特別研究
(卒業論文)

毎年次初めての履修ガイダンス開催について

海事科学部では、各学年における履修指導のため、各年度冒頭（2018年度では4/3）に各年次生向けに履修ガイダンスが実施しています。

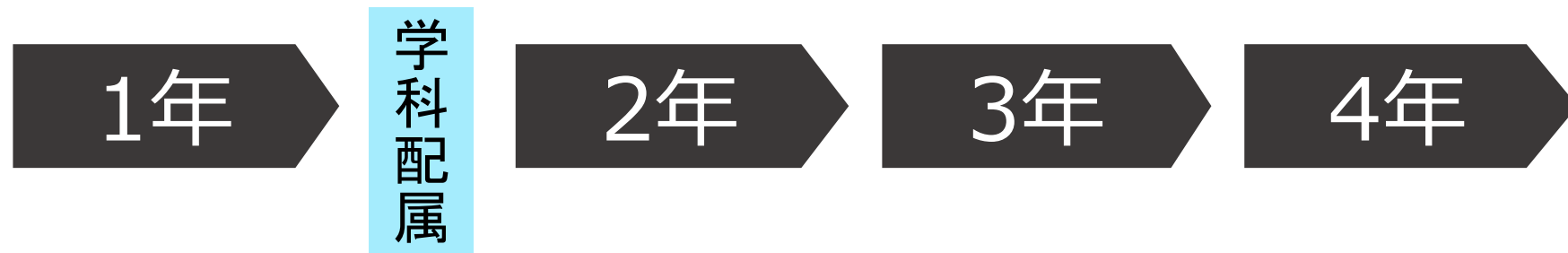


一年次は新入生オリエンテーション、初年次セミナーが履修ガイダンスに相当する。

必ず出席すること！新年度開始後ただちに開催されるので新年度4月期には予定をいれないこと。

5-1. 学科配属・コース配属について

学生便覧P149

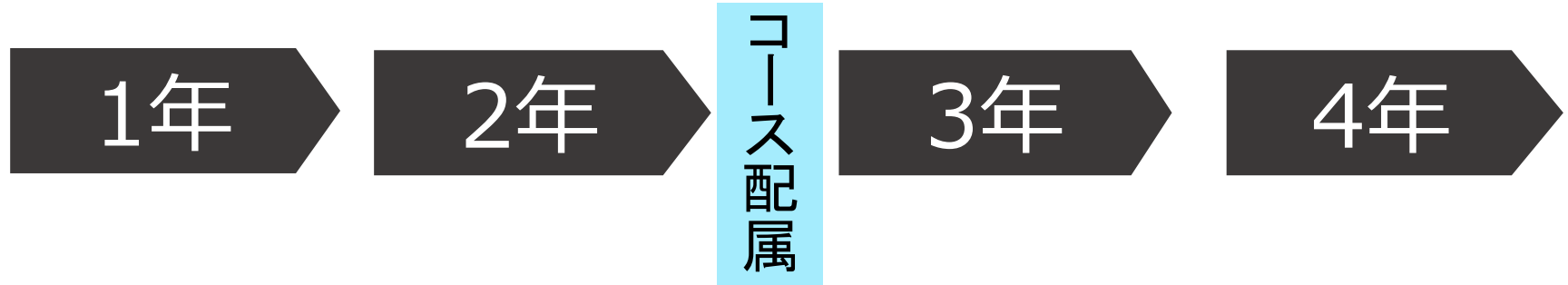


海事科学部には下記の3つの学科があります。1年次の1月頃に下記の学科・コースについて配属希望調査が行われます(4種から選択、第1志望から第4志望まで)。

- ・ グローバル輸送科学科 { 航海マネジメントコース(海技士養成)
ロジスティクスコース
- ・ 海洋安全システム科学科
- ・ マリンエンジニアリング学科

他方、学科・コースには定員があります。配属方法は、本人の希望と1年次のGPA、修得単位及びTOEIC(IP)の成績等を勘案して実施します。なお、申請書未提出者については、教授会にて審議し配属を決定します。これらの配属は休学者も対象となります。

マリンエンジニアリング学科コース配属について



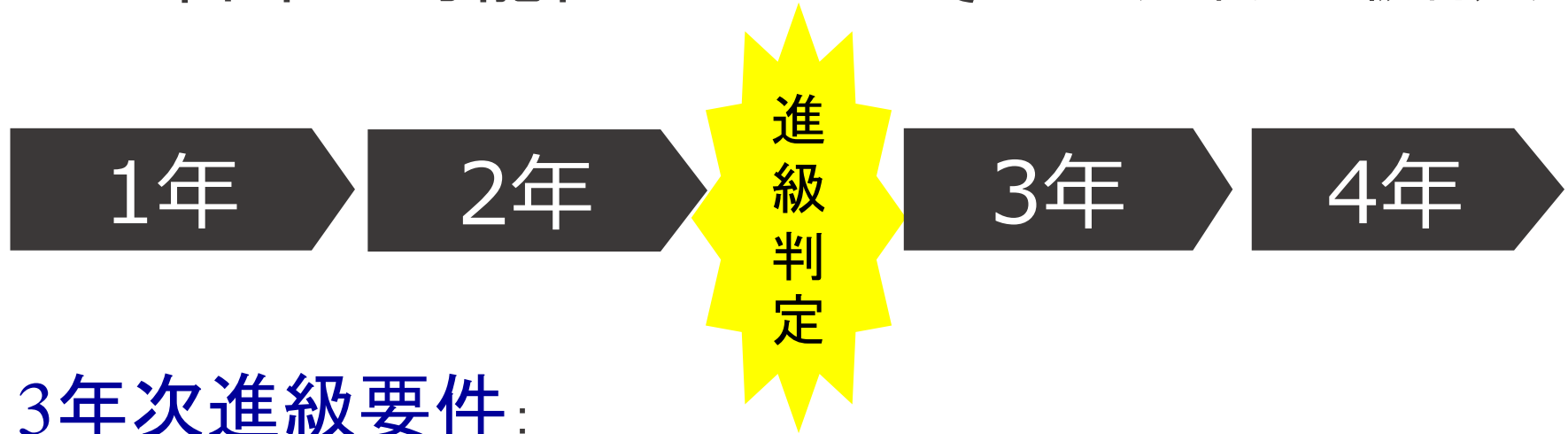
マリンエンジニアリング学科に配属された学生は、3年次にコースに配属されます。配属希望調査は、マリンエンジニアリング学科に配属された学生を対象に、2年次の1月頃に行われます（2種から選択）。

- ・ マリンエンジニアリング学科
 - 機関マネジメントコース（海技士養成）
 - メカトロニクスコース

これらの配属手続きで、志望通りの学科・コースに配属されるように、学生各位は大学での勉学に努めてください。

成績不振は進路選択に深刻な影響を及ぼします。

5-2. 留年の可能性について その1 (3年次進級判定)



3年次進級要件:

- ・2年間在学していること。
- ・卒業所要科目単位数54単位以上を修得していること。
- ・**全学共通授業科目において卒業に必要な科目を全て修得していること。**

上記全てを満たせていない者は留年となり、次年度は3年次以上で開講される科目は履修できない。→ 留年

3年次進級に必要な全学共通授業単位数

授業科目の区分など		授業科目等	必要修得単位数
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4
外国語科目	外国語第I	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4
	外国語第II	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1
健康・スポーツ科学		別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	
高度教養科目		海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目 他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	4
共通専門基礎科目		別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10

左表の水色のカテゴリーについては2年終了時までには全て単位を取得しておかないと、3年次に進級できません。

5-3.留年の可能性について その2 (特別研究履修判定)



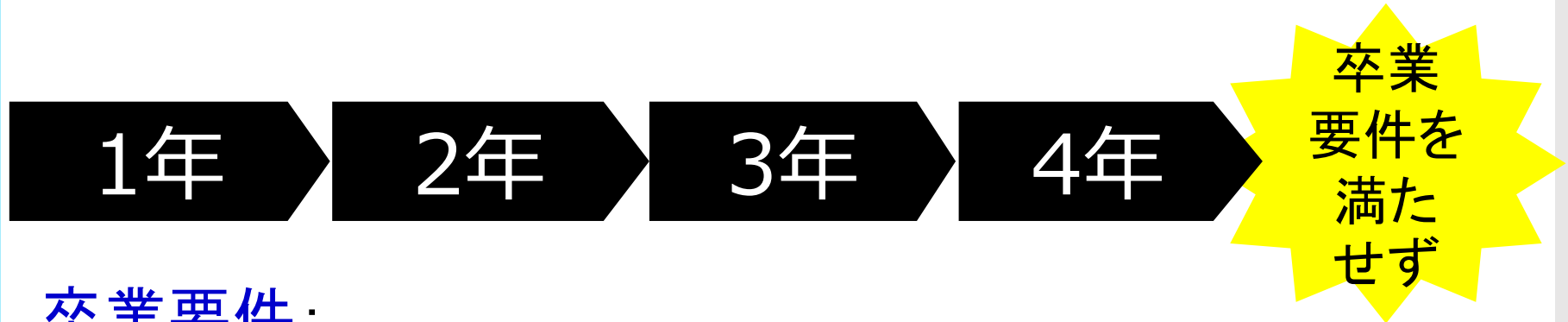
「特別研究」履修要件:

- ・3年間以上在学していること
- ・3年次以上に進級していること(事実上の要件)
- ・卒業所要科目単位数100単位以上を修得していること

上記全てを満たせていない者は、次年度は特別研究を履修できない。→ **事実上の留年**

「特別研究」は全学科・コース所属学生にとって必修科目であり、履修・合格しなければ卒業できない。そのため、卒業1年前までに特別研究履修要件を満たさなければ留年する。

5-4.留年の可能性について その3(卒業判定)



卒業要件:

- ・4年間(8学期以上)大学に在学していること
- ・卒業に必要な単位数(**130単位以上**)を修得していること
- ・各科目区分ごとの必要修得単位数を満たしていること

各学科・コース所属学生毎の卒業要件が海事科学部規則別表第2にまとめられている(学生便覧p.137～141)。4年次進級後、特別研究履修・合格後であってもこれらの要件を満たさない学生は卒業が認められない。

5-5.卒業要件について

学生便覧P137~141

別表第2 履修要件 (第6条関係)

イ. グローバル輸送科学科 航海マネジメントコース

授業科目の区分等		授業科目等	必要修得単位数	備考
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4	
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4	
外国語科目	外国語第Ⅰ	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	English Communication B1, B2, English Literacy B1, B2は Advanced English Communication B1, B2, Advanced English Literacy B1, B2で読み替えることができる。
	外国語第Ⅱ	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	ドイツ語、フランス語、中国語及びロシア語のうちから1つ選択すること。 ※ドイツ語、フランス語、中国語の初級A 3、初級A 4、初級B 3、初級B 4は初級S A 3、初級S A 4、初級S B 3、初級S B 4で読み替えることができる。
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1	
健康・スポーツ科学		別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		修得した単位数は、必要修得単位数(130単位)に算入できる。
高度教養科目		海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目 他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	4	
共通専門基礎科目		別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10	履修方法については別に定める。
学部共通科目		別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目	16	
専門科目	学科共通科目	別表第1のロに掲げる学科共通科目の授業科目	14	
	航海マネジメントコース 第一専門科目	別表第1のロに掲げる航海マネジメントコースの第一専門科目の授業科目	36	
	航海マネジメントコース 第二専門科目	別表第1のロに掲げる航海マネジメントコースの第二専門科目の授業科目	7	
他コース・他学科専門科目・他学部授業科目				この区分の他学部授業科目は、別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目を除く。 修得した単位数は、6単位まで必要修得単位数(130単位)に算入できる。
合計			130	

卒業要件は学科・コースごとに異なります。学生便覧では左図のような表で各学科・コースごとに卒業要件をまとめたものを表しています。

←(注意)これは航海マネジメントコースの履修要件です。

配属後は、各学科コースの卒業要件を満たすように履修してください。

授業科目の区分など		授業科目等	必要修得 単位数
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4
外国語科目	外国語第I	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4
	外国語第II	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1
健康・スポーツ科学		別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目	
高度教養科目		海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目	4
		他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	
共通専門基礎科目		別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10
学部共通科目		別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目	16

基礎教養科目から学部共通科目までは、海事科学部内の学科・コースを問わず、卒業履修要件は同じです。

2年次以降に履修する専門科目の区分において、配属学科・コース毎に差異が生じます。

そのため、まず1年次は右表の水色(全学共通授業科目)および黄色(学部共通科目)の科目区分の履修・合格に努めて下さい。

授業科目の区分など		授業科目等	必要修得 単位数	
基礎教養科目		別表第1のイに掲げる基礎教養科目の授業科目	4	
総合教養科目		別表第1のイに掲げる総合教養科目の授業科目	4	
外国 語科 目	外国語第I	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	
	外国語第II	別表第1のイに掲げる外国語科目の授業科目	4	
情報科目		別表第1のイに掲げる情報科目の授業科目	1	
健康・スポーツ科学		別表第1のイに掲げる健康・スポーツ科学の授業科目		
高度教養科目		海事科学部高度教養科目に関する内規別表に関する授業科目	4	
		他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目		
共通専門基礎科目		別表第1のイに掲げる共通専門基礎科目の授業科目	10	
学部共通科目		別表第1のイに掲げる学部共通科目の授業科目	16	
専門 科目	学科共通科目		14	
	航 海 マ ネ ジ ム エ ン ト コ ー ス	第一専門科目	別表第1のロに掲げる航海マネジメントコースの第一専門科目の授業科目	36
		第二専門科目	別表第1のロに掲げる航海マネジメントコースの第二専門科目の授業科目	7
他コース・他学科専門 科目・他学部授業科目				
合計			(104) 130	

航海マネジメントコースを例に見てみると、

水色で示された科目は全学共通授業科目で1年次に履修し終える科目です。

黄色で示された科目は海事科学部の専門科目ですが、1年次から履修できます。

色づけされていない科目区分は、高学年次(2~4年次)履修します。

各科目区分の必要修得単位数を修得したとしても、航海マネジメントコースの場合は104単位にしかありません。

しかし、いずれの学科・コースでも卒業には130単位以上の単位取得が必要です。

6. 履修登録、成績判定に関する注意事項

6-1. 履修登録方法

履修登録は学生自身が神戸大学教務情報システム(うりぼーネット)を用いて行います。**うりぼーネット上の手続きを行わずに授業だけに出席し続けても単位修得はできません！**

・このシステムの操作方法は第1Q開講科目「情報基礎」で説明されますので必ず使い方をマスターしてください。

・学生毎のIDとパスワードが発行され、コンピュータシステムにログインした状態(学生を特定した状態)で履修申請を受け付けるシステムになっています。自身のIDとパスワードに関する情報を学生各位が他人に漏洩することは禁止されています。そのため、他人に履修手続きを代行してもらうことはできません。

履修登録手続きのイメージ

神戸大学トップページ ⇒ 在学生の方へ ⇒ うりぼーポータル ⇒ 「うりぼーネット」 ⇒ ユーザーIDとパスワードを入力してログイン



神戸大学学生向けポータルサイト

うりぼーポータル

神戸大学トップページへ

よくある質問と回答

お問い合わせ先一覧

アクセス・キャンパスマップ

トピックス

- 2017/03/02 [【全学部生】平成29年度前期の全学共通授業科目の抽選登録について\(3/24~4/3\)](#)
- 2017/03/02 [【全学生】平成29年度 前期・第1クォーター・第2クォーターの履修登録について\(4/7~4/20\)](#)
- 2017/03/01 [証明書自動発行機、うりぼーネット及びシラバスシステムの停止について【3月31日-4月3日】](#)
- 2017/03/01 [【イベント情報】2016年度 第4回海外留学フェア\(3月13日\)](#)
- 2017/02/27 [2016年度「卒業・修了時アンケート」の実施について](#)
- 2017/02/23 [2017年度版神戸大学LMS BEEF リリースについて\(3/14 15:00\)](#)
- 2017/02/23 [日本学生支援機構奨学金\(学部\)停止中の方の手続きについて](#)
- 2017/02/21 [平成28年度後期「学修の記録」実施のお知らせについて](#)
- 2017/02/21 [【イベント情報】平成28年度博士學位記授式について\(大学院博士・博士後期課程\)](#)

緊急情報

現在、緊急情報はありません

神戸大学教務情報システム うりぼーネット

Kobe University Academic Affairs Information System

- ◆ 教務情報システム(うりぼーネット)を利用する前に
- ◆ システム停止情報
2017年3月31日(金)13時~4月3日(月)9時(予定)

高度教養科目

履修対象者は、平成28年度入学者から

国際教養教育院

神戸グローバル
チャレンジプログラム
Feel the Global! Change Your World!

神戸大学LMS
BEEF

LEARNING COMMONS

カテゴリー一覧

授業／履修登録

- 履修登録／履修取消
- 履修登録・抽選登録／履修取消期間／成績発表の期間
- GPA
- キャンパスカレンダー
- 授業時間割
- シラバス
- 授業振り戻りアンケート
- 交通機関の運休、気象警報の場合における授業、定期試験の休講措置
- 学部・研究科教務担当窓口一覧
- 神戸大学LMS BEEF
- 科目ナンバリング
- 高度教養科目

学生生活

- SNS等による情報に関する注意
- 学生生活に関するマナーとルール
- 届出・届出等手続き一覧
- 各種証明書
- 通学定期乗車券の購入方法
- 授業料
- 授業料・入学料免除などの制度
- 奨学金制度
- 学生寮
- 課外活動
- 保険制度
- 学生表彰制度
- 学生相談
- 運動施設・課外活動施設の概要

健康／安心／安全

- ハラスメントに関する相談
- こことからの健康相談
- 「いしかり」関連情報
- 障害学生支援
- 危機管理マニュアル
- 公益通報
- 情報倫理

うりぼーポータル内の情報もよく確認しておいてください。

ログイン後、履修・抽選タグをクリックして履修申請画面を表示させる

新着情報
あなた宛の新着情報があります。
新着の掲示があります。

MYスケジュール
2017年2月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2017/02/16(Thu)

1限: サブアトミック物理化学 @4号館4304講義室

1限: 環境生態学 @4号館4304講義室

2限: サブアトミック物理化学 @4号館4304講義室

2限: 環境生態学 @4号館4304講義室

登録するクォーターのタブを選択

履修登録・登録状況照会

氏名 田村 省吾
所属 海事科学部海洋安全システム科学科環境評価・分析分野
年度・学期 2016年度 第2クォーター
電話番号(自宅) 0745735426 電話番号(携帯) 09083805191 メールアドレス
履修登録期限 登録期間外 履修取消期限 取消期間外

	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1限	1W400 安全工学基礎論 嶋田 博行	1W408 流体力学1 宋 明良	1W104 経済学I 松本 秀輔	1W400 物理化学I 山内 知也	1W154 ライティング英語2 入江 伸光	未登録	未登録	未登録
2限	1W401 物理化学II 蔵岡 幸治	1W410 材料力学1 藤本 岳洋	未登録	1W400 物理化学I 山内 知也	1W138 応用数学2(学番下一桁:奇数) 石井 克幸	未登録	未登録	未登録
	未登録	1W404 自然エネルギー工学 井川 博雅	1W254 基礎ゼミ1(山下) 山下 和雄	1W402 電気電子工学 数 哲郎	未登録	未登録	未登録	未登録
		1W119 最新船用機器・技術概論 段 智久	未登録	1W412 海事政策論 長田 太	未登録	未登録	未登録	未登録
5限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
6限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
7限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

集中講義の登録も忘れずに!

集中講義など(隔週講義等で上記一覧に表示できない履修科目を含む。)

[重要] うりぼーネット上での履修登録手続きが 終わった後にすること！

うりぼーネットで履修登録後、[履修登録・登録状況照会]の画面下にある [PDF出力] をクリックし、PDFデータを印刷(プリントアウト)する。**プリントアウトしたものを海事科学部事務棟1Fの教務学生グループに提出する！**

新着情報
あなた宛の新着情報があります。
新着の掲示があります。

MYスケジュール
2017年2月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2017/02/16(Thu)

1限: サブアトムック物理化学 @4号館4304講義室

1限: 環境生化学 @4号館4304講義室

2限: サブアトムック物理化学 @4号館4304講義室

2限: 環境生化学 @4号館4304講義室

3限: エネルギー・環境・経済論 @4号館4304講義室

3限: 資源工学 @4号館4304講義室

4限: エネルギー・環境・経済論 @4号館4304講義室

4限: 資源工学 @4号館4304講義室

よく使うメニュー

- 授業ポートフォリオ
- 履修登録・登録状況照会
- 履修成績照会
- 単位修得状況照会
- 休講補講参照

1W401 物理化学Ⅱ 蔵岡 孝治	1W410 材料力学Ⅰ 藤本 岳洋	未登録	1W400 物理化学Ⅰ 山内 知也	1W138 応用数学Ⅱ(字番下一桁:奇数) 石井 克幸	未登録	未登録
未登録	1W404 自然エネルギー工学 井川 博雅	1W254 基礎ゼミⅠ(山下) 山下 和雄	1W402 電気電子工学 藪 哲郎	未登録	未登録	未登録
未登録	1W119 最新船用機器・技術概論 段 智久	未登録	1W412 海事政策論 長田 太	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

集中講義など(隔週講義等で上記一覧に表示できない履修科目を含む。)

PDF出力 履修状況をPDFファイルに出力する場合に使用します

プリントアウトのイメージ

※提出前の注意事項

1. 履修登録が完了してから最終版を提出すること。
2. 学籍番号、氏名、提出年月日を記入すること。
3. 特別開講等で履修登録コードがない場合は、赤字で記入のうえ、提出時に窓口で申し出ること。
4. 前期は1Qと2Q、後期は3Qと4Qをそれぞれホチキス留めして提出すること。

平成28年度2Q 履修科目一覧表		平成28年度1Q 履修科目一覧表			
所属	学次	学籍番号	氏名	提出年月日	提出
1	1801 船司 博行 安全工学基礎 2.0単位	1802 岡 明茂 物理化学I 2.0単位	1803 松本 高輔 材料学I 2.0単位	1804 山内 知也 物理化学I 2.0単位	1805 入江 裕元 ライティング演習I 1.0単位
2	1806 船司 博行 物理化学II 2.0単位	1807 橋本 浩洋 材料力学I 2.0単位		1808 山内 知也 応用数学2(学修下-1:合 格) 2.0単位	
3		1809 川村 博哉 自然エネルギー工学 2.0単位	1810 山下 高輔 基礎ゼミ(山下) 1.0単位	1811 船 野郎 電気電子工学 2.0単位	
4		1812 船 野郎 船政歴史演習・自然環境 2.0単位		1813 長岡 光 海事化学I 2.0単位	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

集中開講・その他

1234567W 海事太郎 4月10日提出

●履修登録時の注意点（**連続履修科目**）

科目のあとに算用数字がつく科目については、1→2、3→4と連続して履修することを前提とした授業内容となっているため、数字の小さい順から履修すること。また、必ずセットで履修登録を行うこと。どちらか一方のみの履修登録は認められない。

例： 海事社会学-1(3Q開講)
 海事社会学-2(4Q開講)

例： 経済学I-1(1Q開講)
 経済学I-2(2Q開講)

●1年次前期履修登録期間

履修申請登録は学期(セメスター)ごとに行います。つまり第1Q, 第2Qは4月期にまとめて申請登録します。H30年度前期の履修登録は4/19(木)17:00まで。但し、**1年次初めの履修登録は変則的**で、「基礎教養科目」、「総合教養科目」については5月初旬(抽選登録期間:5/7~5/14 17:00まで)に行います。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			

1Q, 2Q, 前期, 1Q集中開講科目, 2Q集中開講科目, 4月期に履修申請指示のあった期間外・不規則開講科目

総合教養科目及び基礎教養科目については、5月初旬に抽選登録

「外国語第I」、「外国語第II」、「情報科目」については、初履修時は大学で事前登録を行うため、学生による履修登録は不要です。

●履修登録期間

以降の年次では、第1Q, 第2Qは4月期にまとめて申請登録します。第3Q, 第4Qは10月期にまとめて申請登録します。つまり履修手続きのタイミングは年2回です。

前期時間割は3月中旬、後期時間割は9月中旬に発表されるので、履修登録の期日は早めに確認し、履修登録漏れのないようにしてください。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			

1Q, 2Q, 前期, 1Q集中開講科目, 2Q集中開講科目, 4月期に履修申請指示のあった期間外・不規則開講科目

3Q, 4Q, 後期, 3Q集中開講科目, 4Q集中開講科目, 10月期に履修申請指示のあった期間外・不規則開講科目

●履修取消期間

神戸大学では、履修・受講してみた科目の受講を取り消す期間が設定されています。各々、履修開始後の所定の期間に設定されているので留意してください。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
授業履修						授業履修					

1Q, 1Q集中開講科目、前期開講科目の履修取消期間

2Q, 2Q集中開講科目の履修取消期間

3Q, 3Q集中開講科目、後期開講科目の履修取消期間

4Q, 4Q集中開講科目の履修取消期間

6-2. 定期試験期間

成績を判定するため定期試験を課す科目が多くあります。定期試験実施時期は各科目の履修期間末に設定されます。学暦予定には定期試験期間の日程が明記され毎年発表されます。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			
授業履修						授業履修					

1Q, 1Q集中開講科目の定期試験

2Q, 2Q集中開講科目、前期開講科目の定期試験

3Q, 3Q集中開講科目の定期試験

4Q, 4Q集中開講科目、後期開講科目の定期試験

●成績発表

自身の成績を確認するため成績発表が行われます。成績は各科目の履修期間末(定期試験等の成績判定期間終了後)にうりぼーネットで発表します。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏季休業		第3クォーター		第4クォーター			

第1Q, 第1Q集中
開講科目の成績
発表期間

第2Q, 第2Q集中開講
科目, 第1セメスタ科目
の成績発表期間

第3Q, 第3Q集中
開講科目の成績
発表期間

第4Q, 第4Q集中開講
科目, 第2セメスタ科
目の成績発表期間

●成績判定に関する注意事項

➤ GPAについて

学生便覧P163～

神戸大学では、学生各位の合格科目成績をGPに基づいて評価しています。学生間の成績の序列化が必要になった際には、同ページに基づくGPAの高低によって成績順位を決定しています。他にもGPAは単位取得状況(成績表)にも付記され、就職活動の際には求職先企業が成績の高低を判断する指標にもなるので留意ください。

➤ 定期試験等における不正行為について

定期試験での不正行為(カンニング等)が発覚した際には、当該学生の同一学期の単位認定が全て取り消されます。レポート作成・提出についても不正行為に当たるものが定義されていますので、不正に手を染めることなく自力を高める修学に努めて下さい。

学生便覧P100、174

7.資格取得に関する注意事項

➤ 教育職員免許状取得について 学生便覧P176～

学生便覧を読み、取得を希望する場合、修得方法の詳細については教務学生グループに尋ねてください。

➤ 船舶職員資格(海技士免状)取得について

学生便覧P207～

神戸大学海事科学部のグローバル輸送科学科航海マネジメントコース、マリンエンジニアリング学科機関マネジメントコースは船舶職員養成施設の認定を受けた海技士教育機関でもあり、これは海事科学部の特色のひとつです。1年次では、学科未配属ということもあり、本件に直接関連する授業は開講されません。

海技士免状取得には法律で定められた身体検査基準を満たさなくてはなりません。基準表(学生便覧p.208)を確認し、海技士免状取得を希望しているが身体検査基準が気になる方は教務学生グループ、保健管理センターに相談してください。

結び

大学の講義科目は、高等学校の授業と大きく異なります。

各科目ごとに担当教員が異なり、個々の教員との接点は週1回の授業だけという局面が増えます。高校に較べて、大学では「学生—教員の距離感」は大きくなったと感じる学生が大半です。しかし、修学関係の問題では、やはり教職員でないと正しい説明ができない内容が多々あります。それほど気負わずに事務棟1Fの教務学生グループに相談に来てください。

学業においては、前回の講義説明内容を学生各位が理解しているという前提に基づいて後続の講義の説明がなされます。クォーター、年次にまたがって講義内容は難しくなっていきます。内容の理解度や応用性が問われ、「融通の利かない丸暗記」では対応できなくなる学問分野が多いです。修学に当たって「大学教員が学生に求めるもの」が「高校教員が学生に求めるもの」とは異なるように感じる人もいます。是非多くの講義を履修して、「大学での勉強」に触れてみてください。